

1月10日（金）お年玉

ふゆやす 冬休み、^{にほん}日本の^よ良さを感^じじましたか？

あそ 遊^びや食^べ物、行^ぎ事など、^{にほん}日本ならではの
こ^とが、た^くさんあ^ったと思^{おも}います。

^{としだま}お年玉もそうです。「〇万^{まん}円^{えん}もら^った」と
おし 教^おえてくれ^こた子^こもいま^した。



^{しょうがつ}お正月にもら^{こづか}うお小遣^{としだま}いをどう^いして「お年玉」と言^いうので
しょうか。も^{としだま}ともとは「お年魂」だ^{かみさま}ったよう^{かみさま}です。神様から
もら^{あた}う新^{たましい}しい魂^{せいめいりよく}（生^い命^み力^こ）とい^いう意味^こが込^こめ^こられて^こいた
そ^うです。

「魂^{たましい}」が「玉^{たま}」に^か変^かわ^かったのは、そ^ちれぞ^{ほう}れの地^お方^{こな}で行^おわれ
て^{まつり}いたお祭^{かんけい}が関^{まつり}係^{かみさま}して^{かみさま}いるよう^{かみさま}です。あ^{まつり}るお祭^{まつり}では、神^{かみさま}様の
格^{かつこう}好^{ひと}をし^{こども}た人^{まる}が、子^く供^こた^くち^くに丸^{まる}いおも^くち^くを配^くり^くまし^くた。あ^くる
お祭^{まつり}では、神^{かみさま}様に^{そな}供^こえた小^こ石^{こいし}を、お参^{まい}りに^き来^きた人^わに^わ分^わける
し^{しゅうかん}う^{かん}慣^{かん}があ^{かん}ったよう^{かん}です。

つ^{としだま}まりお年玉とい^{かみさま}うのは、も^{かみさま}ともとは神^{かみさま}様^おへ^くの贈^くり^{もの}物^{もの}で^{もの}し
た。で^{かみさま}すから、神^{かみさま}様^{しんねん}から^{しんねん}の新^{しんねん}年^{しんねん}の^{いわ}お祝^{いわ}いと、一^{いちねんかん}年^{いちねんかん}間^{かん}が^{かん}んば^{かん}れ
とい^{おうえん}う^{えん}あ^きん^きの^き気^き持^もち^もが^もお年玉^もとい^もう^もこ^もの^もよう^もです。

だ^{だいじ}から^{つか}こそ、大^{だいじ}事^{つか}に使^{くだ}って^{くだ}下^{くだ}さい。